

ふくおが



令和3年8月2日 消費拡大オンラインイベント(元モー娘。中澤裕子さん〔中央〕を迎えて)

組合トピックス	1~6	コラム	8~9
MOMOステーション	7	色々問答	10

福岡県乳用牛群改良 検定組合連絡協議会 第三十九回通常総会（書面議決） を開催

十月八日（金）福岡県乳用牛群改良検定組合連絡協議会の第三十九回通常総会が開催されました。今年も新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面で開催され、第一号議案から第四号議案まで可決承認されました。

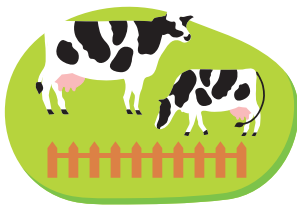
連絡協議会では、県の検定推進会議、ふくおか県酪協及び検定組合と連携を密にし、酪農家の経営支援を目的に『検定組合間の連携強化』検定農家への情報提供』等について推進を図ります。なお、今年度の役員は下記のとおりとなっております。

検定組合	組合長名	役職
ふくおか県酪農業協同組合	草場 哲治	会長
甘木朝倉地区乳用牛群改良検定組合	岩下 寿秀	副会長
県北地区 //	金光 伸幸	理事
筑後地区 //	成清 伸明	理事
福岡支所 //	重富 康則	監事
久留米 //	原口 演理	監事

第四十五回 ふくおか県酪農 青年女性会議 総代会（書面議決） 開催

第四十五回ふくおか県酪農青年女性会議の総代会は、新型コロナウイルスの影響により、七月十六日（金）に書面にて開催し、第一号議案から第三号議案全て可決されました。

令和三年度も、スポーツ交流会や発表大会（研修会）により、会員相互の交流を行いながら、情勢の変化に対応できる足腰の強い酪農経営を考えて結束していきたくて考えていますので、皆さまのご協力お願い致します。



第十四回 福岡県乳牛改良 協議会通常総会 （書面議決）開催

第十四回福岡県乳牛改良協議会通常総会は、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、六月三十日（金）に書面議決にて執り行われ、すべての議案において、全員賛成にて可決されました。

未だに猛威をふるい続ける新型コロナウイルスの影響により、昨年からの第十五回全日本ホルスタイン共進会、オール九州B&Wシヨウ、福岡県乳牛共進会、福岡県改良協議会研修会など、共進会やイベントは延期や中止が相次ぎ、日頃の乳牛の改良の成果を発揮する機会がことごとく失われてしまいました。今後においても終息への道は不透明な状況が続くと思われませんが、福岡県乳牛改良協議会は会員の連携を深め、乳牛の改良や、能力を生かせる飼養管理技術の習得に努めるとともに、酪農後継者育成と酪農経営の安定及び向上を目的とし活動を行ってまいりますので、ご協力の程よろしく願いたします。

令和2年次 牛群検定成績まとまる

令和2年次の牛群検定成績結果が発表され、福岡県の検定農家における経産牛1頭当たりの平均年間乳量9,519kg(前年9,463kg)、平均乳脂肪率3.94%(前年3.94%)、平均無脂固形分率8.76%(8.74%)の成績となりました。

都府県(検定牛)の経産牛1頭当たりの平均年間乳量は9,516kgで、福岡県は都府県とほぼ同水準となっています。

検定組合ごとの生産・技術成績は下記のとおりです。

令和3年 牛群検定事業成績

項目 組合名	戸数 (戸)	経産牛 1頭当り 年間 TMS量	経産牛 1頭当り 年間 乳量	経産牛 頭数	搾乳牛 頭数	平均 全固形 分率	平均 脂肪率	平均 蛋白 質率	平均 無脂固形 分率	平均 乾乳 日数	平均 分娩 間隔	平均 初産 月齢	平均 年齢		平均 産次	4%FCM
		(kg)	(kg)	(頭)	(頭)	(%)	(%)	(%)	(%)	(日)	(日)	(月)	(才月)	(産)	(kg)	
福岡支所 乳用牛群改良検定組合	41	1,222	9,675	54.2	47.5	12.63	3.87	3.31	8.76	64	449	25.2	4	2	2.8	9,492
	41	1,235	9,767	52.3	46.1	12.64	3.90	3.31	8.74	64	448	25.2	4	2	2.7	9,619
甘木朝倉地区 乳用牛群改良検定組合	28	1,179	9,274	37.5	32.9	12.71	3.97	3.30	8.74	67	460	25.6	4	1	2.6	9,234
	29	1,169	9,260	37.8	32.9	12.62	3.91	3.27	8.71	69	455	25.4	4	3	2.7	9,133
久留米地区 乳用牛群改良検定組合	38	1,281	9,996	58.0	51.4	12.82	4.00	3.35	8.82	61	452	25.5	4	3	2.8	9,994
	38	1,257	9,841	55.3	49.1	12.77	3.98	3.33	8.79	62	456	25.5	4	3	2.8	9,816
県北地区 乳用牛群改良検定組合	32	1,135	8,971	33.8	30.0	12.65	3.85	3.34	8.80	62	460	24.4	4	2	2.7	8,775
	32	1,131	8,909	33.5	29.7	12.69	3.90	3.34	8.79	61	460	24.7	4	3	2.8	8,781
筑後地区 乳用牛群改良検定組合	12	1,189	9,301	43.1	38.2	12.78	4.01	3.30	8.77	60	453	24.6	4	4	2.8	9,319
	14	1,159	9,065	42.5	37.7	12.79	4.03	3.31	8.76	61	458	24.5	4	6	3.0	9,101
合計 または平均	151	1,219	9,580	46.8	41.3	12.7	3.94	3.33	8.78	63	453	25.2	4	3	2.8	9,488
	154	1,209	9,519	45.5	40.2	12.7	3.94	3.31	8.76	64	454	25.2	4	3	2.8	9,430
ふくおか県酪 平均	174	1,134	8,936	-	-	12.69	3.91	-	8.78	上段:令和3年1月~令和3年12月 下段:令和2年1月~令和2年12月						
	182	1,116	8,819	-	-	12.65	3.89	-	8.76							
都府県	-	1,233	9,644	-	-	12.78	3.93	3.38	8.85							
	-	1,213	9,516	-	-	12.75	3.92	3.37	8.83							



頑張る酪農家紹介

飯塚支所 松岡 茂さん(昭和二十二年生まれの74歳！)

美恵子さんご夫妻

昭和四十年 子牛を二頭購入酪農就農 出産後手搾りで生乳出荷する。

昭和四十二年 北海道より初妊牛導入し二十二頭になり、バケットミルカーを購入し輸送缶(二十ℓ)で集乳所まで運搬する。

昭和四十六年 お兄さんのお見合い相手(実のお姉さん)と同席していた美恵子さんに一目ぼれし、結婚に至る。四人の子供に恵まれ、現在は六人の孫に囲まれており、今年金婚式を迎える。

昭和四十六年 全国酪農経営発表大会に出場

平成七年 所属の南嘉穂酪農組合が合併により筑豊地区酪農協へ

平成十二年 現在の四十頭牛舎に移転

現在、妻と長女(優子さん)の三人で毎日楽しく、経産牛二十八頭、育成牛一頭、和牛六頭飼育し、十年後のダイヤモンド婚式を目指し酪農を頑張っています！



新婚さん紹介

名前 星野祐樹・香澄

挙式(入籍) 令和2年11月16日

所属 久留米支所

令和2年11月16日に入籍しました！
今年6月10日に第一子も誕生しました！
酪農と子育てと共に2人で助け合って
頑張りたいです！



!HAPPY WEDDING!

名前 江藤健太郎・純子

挙式(入籍) 令和3年3月6日

所属 飯塚支所



令和3年3月6日に挙式を挙げました。北海道の専門学校時代の先輩・後輩の関係で、話も合い、一緒にいて楽しい存在。出会って半年くらいで付き合い始め、交際期間約4年を経てゴールインしました。私は親牛全体の管理、妻は子牛の世話等お互いの得意分野を活かして高い目標を持ち、二人仲良く酪農経営を頑張っていこうと思いますので、皆様のお力添えを宜しくお願いします。



「元モーニング娘。中澤裕子さんと学ぶ！夏休み特別企画♪牛乳ができるまでのオンライン工場見学ツアー」の開催

コロナ禍の中、対面イベントの実施が難しい為、ZOOMを使ったオンラインイベントを八月二日ふくおか県酪本所にて開催しました。MCには福岡を中心に活躍中の元モーニング娘の中澤裕子さんを迎え「元モーニング娘。中澤裕子さんと学ぶ！夏休み特別企画♪牛乳ができるまでのオンライン工場見学ツアー」と題して、牛乳が届くまでの説明や、普



や牧場からの生中継に加えて、大人気のパン教室の沖田先生のアイスを使ったレシピの実演などを行いました。楽しいトークと共に県産牛乳の美味しさや酪農について伝えることができ、酪農理解醸成や消費拡大につながる有意義なイベントとなりました。



新型コロナウイルス感染症 緊急事態宣言解除後における 感染予防対策について

本県では十月一日から「新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言」は解除され「福岡コロナ警報」に移行しましたが、飲食店の営業時間短縮要請は継続されました。新規感染者や重症者の数は減っているものの、ワクチンの二回接種率は未だ一〇〇％に達しておらず、また変異株による蔓延の心配もあります。加えて、これから冬に向かい寒さによる感染拡大が危惧されます。

組合でも、組合員や職員の家族に感染者や濃厚接触者の発生が一部ありましたが、関係機関と協力して消毒や自宅待機等の対応をおこない大事には至っていないとこころです。

組合員の皆様におかれましては、感染症対策が長期間になり何かと不自由な生活を強いられている中、今回緊急事態宣言が解除されましたが、新型コロナウイルス感染症

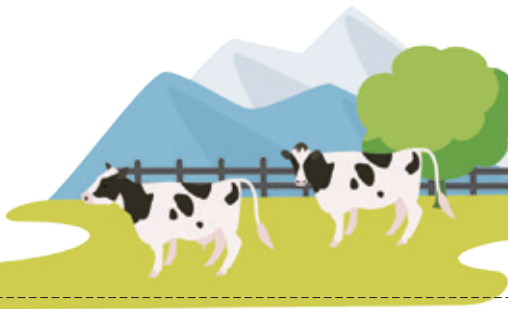
防のため不要不急の外出自粛、基本的な感染対策（三密の回避、マスクの着用、手洗い、換気等）の励行、消毒の徹底等を継続して努めて頂きますようお願いいたします。

なお、万一酪農場に係る方の感染又は濃厚接触者が発生した場合、組合までご連絡いただきま



第十六回 福岡県乳牛共進会 の開催中止の お知らせ

組合では、八月三十日開催の理事会において、現段階において新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たないことから、令和三年度に開催を予定していた第十六回福岡県乳牛共進会は、昨年度に引き続き開催中止とし、次年度へ延期することといたしました。



令和三年八月 九州北部を中心に 大雨被害発生

八月十一日から降り続いた雨により、九州から中国地方にかけて記録的な豪雨となり、土砂災害や河川の氾濫、床上浸水などの被害が発生しました。

福岡県においても、十三日〜十四日にかけて豪雨となり久留米地域を中心に冠水などの被害が発生し、農作物等大きな損害が出ました。

組合員では、牛舎浸水による生乳廃棄一戸、道路冠水により集乳が出来ず廃棄一戸、牛舎周辺の崖崩れ等被害が発生、また、佐賀県、長崎県においても同様の被害が発生し、三戸の酪農家で生乳廃棄が発生する事態となりました。

被害に遭われた方にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く復旧することを願います。



MOMOステーション

(ふくおか県酪農青年女性会議ニュース)

Vol.191

徳満神社 畜魂祭

福岡支所

九月十三日(月)糸島市高祖の高祖徳満神社において、酪農の蕃息と無病息災、皆様の日々の安全と新型コロナウイルス早期終息を願って徳満神社酪農安全祈願祭が執り行われ、管内の酪農家が多く出席しました。こちらの高祖徳満神社では、春と秋の年に二回高祖神楽が神楽殿で奉納されており、とても神秘的です。

まだコロナウイルスの終息とはなりません、一日も早く普段の生活に戻って共進会やイベントに参加したり、視察研修など行きたいですね。



疾病予防の為に自分で出来ること

久留米支所青年部 久留米支部 本山 匡浩

私は疾病予防に取り組んでいます。

私が見てきた疾病予防に取り組んでいるかという点、数年前までは分娩後に胎盤停滞やケトosisなどの周産期疾病でつまづいて乳量低下・繁殖障害となった牛がおり経営に響いていたためです。そこで私は、獣医師や全酪の指導員と話して問題点を見つけ、それを改善する事にしました。

問題点は乾乳期の飼い方にありました。

乾乳期の牧草は飽食で食べさせていたのですが、栄養管理においてはさばりがちでした。そこでドライ&フレッシュだけでなく、バイパスアミノ酸やビタミン剤を適度に足すようにしました。更に分娩後は経口薬を五日ほど積極的に飲ませることにより、周産期疾病が劇的に減少し、産後の立ち上がりもよく獣医師を呼ぶ頻度も減りました。

今でも獣医師と意見交換をしながら自分のできる事は実施するように心掛けています。今は久留米診療所の獣医師の人数が少なくひとりひとりにかなり負担がかかっています。皆さんが自分で疾病予防ができれば負担を減らすことができるのではないかと考えています。

これからも私は自分で出来る疾病予防に努めていきたいと思います。

診療所日記

飯塚乳牛診療人工授精所

河村 信一

サシバエと 牛の生産性について

〇はじめに

先日、授精で訪れたとある牧場に某大学の方が研究用「サシバエ」の採取にいられていて、少々雑談する機会がありました。「いつも採取している地域が今年はほとんどサシバエが取れず、こちらへ来たら大漁でした」と、サシバエが詰まった捕獲機を六〜七基ほど回収していかれました。その会話の中で、「サシバエが出る牛舎と出ない牛舎の違いとは「サシバエが繁殖に影響を及ぼすことはあるのか」と問われ、恥ずかしながら具体的回答が出来ませんでした。そこで、今回改めてサシバエについて調べてみました。

〇サシバエってどんな生き物？

サシバエを調べるにあたって、『兵庫「The Fly Project」』様の資料が分かりやすかったので表1に引用させていただきます。

表1. サシバエの生態

- 野外性のハエで日本全土に生息
- 雄雌共に吸血性があり、人や牛に被害がある
- 生涯産卵数は約800個で繁殖性高い
- 卵は牛舎周辺の適度に乾いた糞、餌の残りなどに生む
- 5月〜7月前半にかけ増加、真夏は活動が低下し、8月後半から晩秋まで被害を与える
- 夏は朝早くから吸血するが、春と秋は気温が上昇する昼に近い時間帯に吸血する
- 気温が下がる晩秋を除き、吸血する時間以外は牛舎周辺の草むらや木陰で休息している

(兵庫「The Fly Project」より引用)

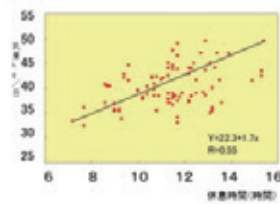
追記として、サシバエの幼虫(蛆)は畜舎内外の取り残した糞が溜まった個所で発見されるそうです。また、飼槽のちよつとした隙間にも産卵されてしまうようです。畜舎内の柱の根本、畜舎の縁石の外側、飼槽の縁石の上、牛床と飼槽の仕切り、ウォーターカップの下、バークリーナーのエレベーター部分…などもサシバエ発生的重要な要素ポイントのようです。サシバエ対策にはまず、これらの個所の重点的な清掃、消毒が重要になります。

〇サシバエの被害・影響について

サシバエは表1で示したとおり、吸血性があり、吸血時に激痛を与えて牛にストレスを与えます。サシバエが増えると牛は神経質に尻尾を振り回し、日中立つたまま過ごす時間が増加するようです。「サシバエの数が増えると、牛を刺すために追い回すようになり、それを避けようとして牛は互いに集まる。このことから牛は飼槽から遠ざけ、乳量は五〜二〇%低下することがある。育成牛においても同様に、八工の多い時には増体するどころか減少する場合もある。」(Western Dairy Business June 2000)」

とあり、採食量の減少、跛行への負担増加、横臥(反芻)時間の減少につながるり産乳量の減少、増体への悪影響などを引き起こすようです。これを見て、平成二十七年九月の会報で触れた「Cow time budget(牛が一日に費やす行動の時間割)」「休息時間をしつかり取ることは生産性向上に関連していると考えられる」を思い出しました(図1、図2)。

図1. 休息時間が長いほど乳量は増加



休息時間と乳量の関係(2004 R Grant) 総研研 資料一部改変

図2. カウタイムバジェット(時間/日)

	泌乳牛※1	2.5万kg牛※2
採食	3~5	6
横臥・休息	10~11	14
反芻	7~10	8
起立・歩行	2~3	-
飲水	1.5	-

(2001 R Grant, 1993 J. L. Albright) 総研研 資料一部改変

この時、「牛が快適に休めることは生産性向上に関連するので、まずは牛床を常に清潔に保つことから意識してみたいかがでしよう」と締めさせていただきましたが、サシバエの発生を抑えるためにも、牛の生産性を上げるためにも、やはり牛舎内環境を清潔に保つことは大事なことのようです。

〇最後に

冒頭で述べた牧場でも、「牛舎も牛も綺麗なのに、なんでこんなにサシバエが発生しているのでしょうか？」と某大学の方が疑問に思われていましたが、これまでに見てきたことから、「目に届かない箇所での清掃や消毒が不十分だったのではなうか？」という仮説が見えてきました。また、繁殖成績においても、最近では改善傾向に向かつてきてはいましたが、まだまだ改善の必要がある牛群だっただけに、サシバエによる被害もいづらか影響しているのではないかと思います。今までの対応も考えていきたいところです。サシバエのサナギは越冬するということから、今から来年に向けて対策することは十分に意義があると思われる。

余談ですが、今回サシバエについて調べていた最中、冒頭で話題に出た「今年はずほとんどサシバエが取れなかった地域」の技術者がサシバエ対策を昨年実施し、実際に成果を上げていたことを偶然インターネットで知りました。もしかしたらその対策の成果が今年はその地域帯で実っているのではないかと、その技術者に会う機会があれば聞いてみたいものです。そして、「この牧場もサシバエがあまり取れませぬ…」と言われるようになってきたらと思えます。

専任指導員(福岡支所駐在)
高野 敏宏

専任指導員日記

ちょっと涼しく感じる日もありますが、まだまだ牛にとっては暑熱期です。11月になるまでは油断せずに暑熱対策をよろしくをお願いします(過去記事参照)

さて、2018年は初乳、2019年はゲノム、2020年は暑熱に関して投稿させていただきました。今回はまたゲノムに戻ります。ゲノム検査への補助が始まり、今年で3年目です。検体数も増え、福岡支所管内だけでも500検体を超えました。

ゲノム値の基準値を作成してほしいという声が多かったため、福岡県全データを元に2020、2021年生まれの牛の基準値を作成したので参考にしてください。

2020年生

	下位25%	中央値	上位25%
総合指数 (TPI)	1995	2179	2328
乳量	221	624	1036
乳脂率	-0.04	0.02	0.08
体細胞	2.88	2.98	3.06
生産寿命	-0.7	0.7	2.3
生存能力	-2.1	-0.8	0.5
娘牛妊婦率	-2.4	-1.5	-0.5
体型	0.13	0.55	1.09

2021年生

	下位25%	中央値	上位25%
総合指数 (TPI)	2042	2231	2405
乳量	136	566	1061
乳脂率	-0.01	0.06	0.11
体細胞	2.86	2.93	3.01
生産寿命	-0.8	2.0	3.3
生存能力	-1.4	-0.2	1.7
娘牛妊婦率	-2.0	-1.3	-0.1
体型	0.01	0.45	0.95

基本的に数字は高ければ高いほど良いですが、体細胞だけは低い方が良いです。

総合指数を例にとってみると、2021年生まれで2405を超えている牛は福岡県で上位25%に入る牛なので、十分すごい牛だといえるでしょう。判別精液をAIしたり、採卵しても良いかもしれませんが。ここからは少し踏み込んだお話をします。「いったいなんのためにゲノムを測定し、どう活かしていくのか」

ゲノムは測定しただけでは、何の意味もありません。ゲノム検査は「客観的に自分の立ち位置を知り、方向性を再確認できるツール」です。自分の牛群の長所、短所を知り、酪農情勢や地域性を考慮し、改良方向を決定しなければなりません。酪農ビジョンのアンケートで「繁殖」が問題だと捉えている農家さんは多かったです。その場合は娘牛妊婦率を改良しなければなりません。乳価を決定づける体細胞や乳脂率も無視はできないと思います。しかし、娘牛妊婦率や体細胞、乳脂率を重視している方は意外に少ないように感じます。

例)

繁殖→娘牛妊婦率(DPR)、受胎指数(FI)

体細胞、乳房炎→体細胞(SCS)、乳房炎(Mastitis)

疾病→疾病形質(HT)

福岡県の生産背景を考慮すると、病気に強く繁殖が良く、長生きして、体細胞が低く、夏も乳脂率が下がりにくい牛が多く、牧場にフィットしているのではないのでしょうか。

私の管内でも、血統登録をしていなかった方が輸入受精卵を購入したり、種雄牛に全然興味なかった方が交配プログラムを利用し、優良牛からの採卵を計画したりと、ゲノム検査のその先に進む方が増えてきました。「いかに自分の牧場の生産背景にフィットした牛で牛群を構成するか」これがこれからのポイントだと思います。悩んでいるポイントで改良する項目が全然違ってきます。牧場ごとに課題や方向性がまったく違うのは当たり前のことなのです。以前は「〇〇さんが使ってたから自分もこの種雄牛を使いたい」という理由も少なくなりましたが、牛群の改良度や方向性が違う以上、この種雄牛選定方法は自分が本来望んでいる方向と違う方向に進んでしまう可能性があるため注意が必要です。

ゲノム検査結果を活かす方法としては、判別精液・受精卵活用、交配プログラム(メイティング)、採卵、OPU-IVFなどがあります。交配プログラムに関してはゲノム検査により精度が高まりますし、金額も安くなります。家畜改良事業団、野澤組、ABS、アルタ各社対応していますし、各々特徴が異なっています。不明な点はぜひ、お近くの診療所にご相談ください。

飼料高騰や災害、SDGs、ヴィーガン等、何かと風当たりが強い畜産業界ですが、これからの時代を乗り切っていく「強い酪農」の一助になれば幸いです。

吉木 四郎

最近目にするSDGスティック

新型コロナウイルスの感染が少しずつ終息に向かいつつありますが、酪農家のみなさんは如何お過ごしでしょうか。元気に生産に励んでいくことと思います。

さて、近頃、全酪新報やテレビなどで目にするSDGスティックは何なのか、調べてみました。

1. SDGスティック

英語で書くとSustainable Development Goalsの略で、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されています。この目標は二〇二五年九月に国連サミットで採択されたものですが、地球温暖化による大規模な自然災害発生等により人類の存続が危うくなり、どうすれば将来安定的に持続生存できるのかを一九三カ国で議論し、二〇三〇年から二〇四五年の二五年度に世界で達成すべき目標を策定したものです。

2. 目標内容

内容は一七の大きな目標と二六九の具体的なターゲットが分類、設定されていますが、少し紹介しますと①貧困をなくす②飢餓をゼロにする③全てのの人に健康と福祉を④質の高い教育をみんなに⑤ジェンダー平等を実現⑥安全な水とトイレを世界中に⑦エネ

ルギーを皆にそしてクリーンに等々、紙面の関係で省略しますが、地球上で人類がこれから生存するための取り組むべき目標となっています。いろいろな分野に分かれています。地球温暖化に対応するため、エネルギーの分野は二〇五〇年までにカーボンニュートラルの実現ということが大きな目標となっており、政府、産業界挙げて技術開発が喫緊の課題となっていることは承知のとおりです。

3. わが国の農業分野では

一方、農業の分野では飢餓をなくし食料の安定確保と栄養状態の改善、持続可能な農業の推進が開発目標となっていますが、農林水産省ではこれを受けて、持続可能な食料供給システムの構築が重要ということで、独自に二〇五〇年までに達成する目標として「みどりの食料システム戦略」を設定し、具体的な取り組みを策定したところ。これを踏まえて、畜産分野ではこれまでの既存の技術の活用や戦略で掲げた技術開発等、今後、取り組むべき具体的な内容について検討するため「持続的な畜産物生産の在り方検討会」を開催し、六月に中間取りまとめが公表されたところです。

詳細については全酪新報や畜産コンサルタント九月号に記載されていますので省略しますが、ポイントとしては、別表のとおりで、環境負荷軽減、輸入飼料依存解消を大きな課題としてとらえ、改良による生産性の向上、スマート畜産の導入、国産飼料基盤の拡大、生産者と消費者の理解促進など生産現場と研究別に取り組むべき目標が設定されています。

4. まとめ

酪農の生産現場では、すぐどこにこうすべきということではありませんが、今後は、これらの具体的な取り組みのための施策、事業が推進されることとなりますので、生産者の皆さんも大きな関心をもって、注視していく必要があると思います。また、一人一人が持続可能な酪農経営を目指していくことが大切だと思います。

別表	具体的な取り組み
畜産物生産に起因する環境負荷低減	高い耐病性を持った家畜改良の推進
	温室効果ガス削減に有効な飼料の推進
	ICT技術等を活用した機器の導入
堆肥の広域流通資源循環の拡大	飼養衛生管理基準の順守徹底
	高品質堆肥の生産
国産飼料生産利用、適切な調達	堆肥の広域流通システムの構築
	国産子実濃厚飼料の生産拡大
有機畜産の取り組み	子実用トウモロコシの開発
	有機畜産に適した飼料の開発
理解醸成の推進	生産者と消費者双方の理解促進

(参考資料:全酪新報7月10日号、畜産コンサルタント9月号)

「2021夏ギフト」ご協力ありがとうございました!

牛乳・乳製品の消費拡大運動の一環として行いました7、8月の「2021夏ギフト」では多くのご利用を頂きました。組合員、役職員の皆様、ご協力ありがとうございました。11月から冬ギフトが始まりますので、引き続きご協力の程、よろしくお願い致します。



今年度も九州の酪農家、関係団体が一丸となって、九州産生乳の安定的な需要維持・拡大を目的に、統一デザイン(ミルとミクの運動用パッケージ)で製造した九州産しし牛乳とバターの利用拡大推進運動を実施しますので、ご協力をお願いします。

実施時期は、十二月頃となりますので、ご家庭・贈答用としてご利用下さい。

令和三年度 牛乳・バター利用拡大 推進運動の実施について



P.N. 甦る獅子

ほっとする

ワクチン話題

あちこちで

俳句・川柳コーナー

人事異動

I. 退職(9月30日付)

氏名	旧所属	備考
藤川 歩	久留米地区乳牛診療人工授精所	依願退職
切木 裕太郎	飯塚支所	依願退職

II. 採用 (10月1日付)

氏名	新所属	適用
了正 美香	久留米地区乳牛診療人工授精所	人工授精師